

ICT活用の意欲を高める

ロイノート研修

B:校内研修Ⅱ型(講師設定型の研修)

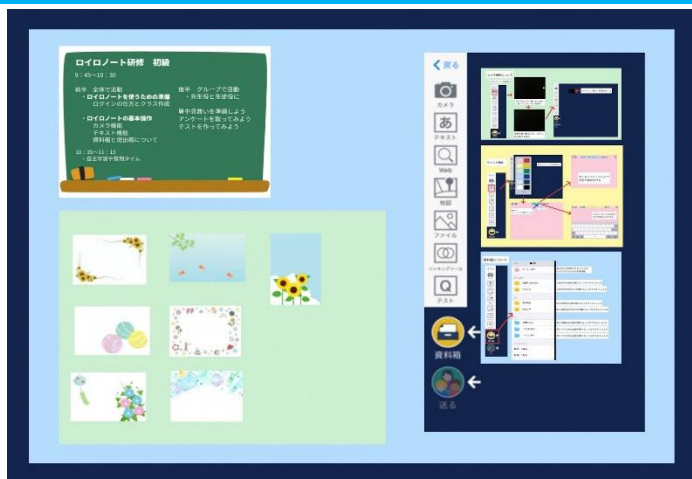
こんな先生方の姿が生まれました!

- 研修で自分でもテストやアンケートを経験したから、不安なく活用できたという声が増えました。
- 「授業でも使ってみよう!」とロイノートの機能を試しながら教材を意欲的につくる姿が増えました。

1人1人が積極的に機能を活用し、試すロイノート研修

ICT活用コーディネーターが先生役、他の先生が生徒役となり、ロイノートの基礎研修を行い、授業で使ってみようという意欲を高める。

- ・ロイノートの活用に不安を感じている職員に対して、ロイノートの機能について説明し、実際にアンケートやテストなどの教材を作成する。
- ・作成した教材を活用して教師役と生徒役に分かれて演習を行う。



ロイノート研修のポイント

- 3~4人の小グループに分かれて研修をすることにより、他の職員と相談しやすい環境を作る。
- 実際にロイノートの機能を活用する時間を多く位置付ける。

ロイノート研修を終えて



研修で作成した教材をもとに、授業での活用の仕方について交流する主体的な姿が広がる。



- ・「自動採点してくれるテストを作ってみたから、2分前学習のときに使ってみよう。」
- ・「新しい単元に入る前にアンケート機能を使って、生徒理解に活用してみよう。」
- ・「資料箱にヒントカードを入れておいて、生徒が自分のタイミングで活用できるようにしよう。」
- ・「ロイノートを使って、暑中見舞いや年賀状を作って生徒に送ってみたい。」
- ・「提出箱は生徒の考えを共有するだけでなく、比較したり、生徒に操作させながら発表させたりすることができるの?今度使ってみよう。」

研修会進行のポイント

- 分からないことや疑問に思ったことは、その都度聞いてもらえるような雰囲気づくりや時間配分をする。
- 小グループでの演習をたくさん取り入れ、実際に端末を操作する時間を十分確保できるようにする。